



学校だより 第5号

糸満市立三和中学校

校長 仲程 俊浩

令和6年8月26日発行

糸満市字真壁519番地

098-997-2104

《教育目標》

ふるさと三和を愛し 主体的に学び続け お互いを尊重し合う 心身ともに健やかな生徒

「手間をかける」「心配りをする」

長い夏休みが終わり、三和中生が学校に戻ってきました。大きな事件や事故がなく、元気な姿、笑顔に会えるのは何よりの幸せです。本日の始業式では以下のことを生徒に話しました。

生徒の皆さん、おはようございます。今朝、正門前で久しぶりに皆さん一人一人と挨拶を交わし、元気な登校姿を見ることができ、そして全員が安全・安心でケガ無く2学期を迎えられたことにまず感謝したいと思います。

夏休みが終わりました。どうでしたか？夏休みを終えた今、皆さんはどんなことが印象に残っていますか。自分の夢や目標に向け、「一歩踏み出す夏休み」になりましたか。印象的なことと言えば、パリオリンピックが開催され、テレビの画面越しに感動や勇気、情熱をもらった人も多いのではないかと思います。

改めてこの舞台から皆さんの姿を見ますと、4月の頃の皆さんとは明らかに見違えるような立派な姿勢・態度です。まず3年生の皆さん、この夏休み、受験勉強しっかり頑張りましたね。逞しく凛々しい顔つきです。一生懸命努力した人の顔になっています。2年生の皆さん、先輩を支え、そして学習面・行事面で1年生をリードしていく中堅学年としての気概と雰囲気を感じ

じます。1年生の皆さん、ずいぶん中学生らしくなりました。入学した頃の小学生の雰囲気はすっかり消え、堂々とした中学生になりました。

2学期は1年で一番長く、最もやりがいを実感できる「成長の学期」です。同時にたくさんの行事が目白押しで「なりたい自分」「つくりたい校風づくり」にふさわしい学期です。

そこで2学期の始業にあたり、ひとつだけお話ししたいことがあります。

それは「手間をかけ、心配りをする」です。これはパリオリンピックで金メダリストに優勝の秘訣は何かとインタビューされたときのある選手の言葉です。

その選手はこの3年間、一つ一つの練習に手間を惜しまず、自分を取り巻く人たちへの心配りを忘れず、それが技術力の向上と周囲からの大きな信頼とサポートを引き寄せることに繋がったそうです。これを皆さんに例えますと、

- ☆ 皆さんの挨拶は丁寧で立派です。加えて「会釈をする」ひと手間と心配り
- ☆ メールで済ませば簡単・楽なことも、大切なことは「きちんと向き合って言葉で伝える」ひと手間と心配り
- ☆ 「ありがとう、の感謝の言葉も、「自分の思いを一言添える」ひと手間と心配り

人と人の良好な関係・絆づくりは、こういった「ひと手間」「心配り」の積み重ねだと私は思います。授業や部活動、清掃活動でも、家庭学習や係活動、受験勉強でも、行事の企画や準備、運営でも手間を惜しまない、心配りを忘れない。

「これくらいでいいかなあ〜」とっているその一歩先まで考え、相手を思いやった言動を心掛け、より良い生き方のために日々思考を巡らせ、例え小さなことでも工夫して実行する。

その「ひと手間」と「心配り」には「見えないところで手を抜かない」という自分への誠実さと相手を慮った気遣い、そして優しさがこもっていると思います。

充実の2学期が始まります。今しかできない学びがあります。中学時代にしか学べないことがあります。「手間を惜しまない」「心配り」をひとつのキーワードに「なりたい自分」「つくりたい校風づくり」への飛躍の学期にしてください。

最後に、3年生はこれから受験に向け正念場を迎えます。これから迎える秋から冬にかけての努力が自分自身を大いに高め成長させてくれます。高校受験は期限付きの戦いです。全ての高校で受験の日程は決まっています。そこまでに勉強の成果を出さないと、どんなに頑張っても合格には結びつきません。自分がやるべきこと全てに期限を付け、意図的・計画的に勉強してください。そして自分の設けた期限に想いを乗せ、「受験」という期限付きの挑戦にしっかり臨み合格を勝ち取ってください。受験は二択です。挑戦するか、棒に振るか。努力にはプラスしかありません。

やる気と知識に無駄はありません。自分を過大評価せず、過小評価せず、しっかりと己を見極め、邁進してください。三和中学校職員は皆さんを全力で応援します。

では、3年生へのエールを込め、2学期始業式の式辞と致します。

～R6 全国学力・学習状況調査～

文科省は7月29日、中学3年を対象に4月に実施した「2024年度全国学力・学習状況調査」の結果を公表しました。

本調査は、全国的な子供たちの学力や学習状況を把握・分析したり、日頃の教育の成果と課題を明らかにして、その改善を図るために平成19年度（2007年度）から実施されています。

全国の中学3年生約99万8,000人に対して、同じ条件で全国一斉に実施されました。母集団約99万8,000人の平均に対し、三和中学校の母集団55人の傾向を把握するための調査です。

今年度は国語・数学（年度によって理科、英語も実施）と学習意欲・学習方法・生活面等に関する質問紙調査で実施されました。

本校中学3年生の平均正答率はすべての教科で全県・全国を上回りました。

私は、義務教育9年間で学んできた成果と捉えております。また、学力向上には子供たちの家庭学習や生活習慣の確立にも関連していますので、ご家庭と学校が一体となって取組んでいくことが大切です。今後とも宜しくお願いいたします。